

グローバル・プロファイリング報告書：香取市

佐藤 寛^{*1} 林 健一^{*2}

1 基本情報

香取市は、千葉県の北東部に位置し、北は茨城県と接している。東京から70km圏にあり、世界への玄関口である成田空港から15km圏に位置している¹⁾。北部には利根川が東西に流れ、その流域には水郷の風情が漂う広大な水田地帯が広がり、南部は山林と畑を中心とした平坦地となっており、北総台地の一角を占めている。

図1 香取市の位置



出典) 香取市ウェブサイト「香取市の概要・なりたち」
<https://www.city.katori.lg.jp/government/profile/profile.html>

産業面では、こうした立地特性を活かした、古くから水郷の早場米産地として知られる米どころである。また、食用甘藷の生産・販売額全国一を誇る千葉県の中でも、一番の生産地である。温暖な気候と肥沃な農地に恵まれ、首都圏の食糧生産地の役割を担っている。

同市には、水郷筑波国立公園に位置する利根川周辺の自然景観をはじめ、東国三社の一つである「香取神宮」、日本で初めて実測日本地図を作成した「伊能忠敬」（関係資料は国宝指定されている）の旧宅や、江戸時代から昭和初期に建てられた商家や土蔵が軒を連ねる佐原の町並み（国選定重要伝統的建造物群保存地区）が見られる。

香取市では、4月から5月にかけては小見川城山公園の「水郷おみがわ桜つつじまつり」が、6月には400品種150万本の花菖蒲が咲き誇る水郷佐原あやめパークの「水郷佐原あやめ祭り」が訪れる人の目を楽しませているなど、行事も年間を通して盛んに行われている。

7月と10月には佐原囃子の調べに乗って山車が市内を曳き廻される勇壮絢爛な「佐原の大

*1 中央学院大学現代教養学部 部長・教授

*2 中央学院大学現代教養学部 教授

1) 以下の基本情報は、香取市ウェブサイト「香取市の概要・なりたち」
<https://www.city.katori.lg.jp/government/profile/profile.html> によった。

祭」(ユネスコ無形文化遺産／国指定 重要無形民俗文化財)が開催され、8月には関東でも有数の歴史と規模を誇る「水郷おみがわ花火大会」が開かれている。

また、日本一の焼いも広場が人気を博している「栗源のふるさといも祭」や、新緑の里山を彩る「いきいき山田鯉のぼりまつり」、黒部川での「市民レガッタ」、歴史ある町並みの中を走る「小江戸マラソン」など、地域資源や香取市の特性を活かした催しが数多く開催されている。

次に、同市の成り立ちを見ていくと 明治 22 (1889) 年の「町村制」の施行により、佐原地区には佐原町などの 9 町村 (後に 8 町村)、小見川地区には小見川町など 5 町村、山田地区には府馬村など 3 村、そして栗源地区には栗源村がそれぞれ誕生している。

この間、佐原や小見川は水運による物資輸送の拠点となり、商業地として発展する一方、山

田・栗源地区では台地を生かした桑苗栽培と養蚕業が盛んとなっている。特に明治 40 年代における県内の繭生産額において、府馬や山倉は上位を占めるほどであった。

昭和 26 (1951) 年から 30 (1955) 年にかけて行われた「昭和の合併」により、佐原市、小見川町、山田町が誕生し、栗源町はこれ以前の大正 13 (1924) 年には町制が敷かれる中、それぞれの市・町の歴史を重ねてきた。そして、平成 18 (2006) 年 3 月 27 日に佐原市、小見川町、山田町、栗源町の 1 市 3 町が合併して、香取市が誕生した。

香取市の人口ビジョン²⁾によれば、香取市の人口は、図 2 のとおり、1985 (昭和 60) 年の 93,573 人をピークに、横ばいが続いていたが、1995 (平成 7) 年以降減少過程に入り、以降は一貫して減少しており、1995 (平成 7) 年から 2020 (令和 2) 年の 25 年間で 21,188 人 (22.7%) 減少している。

図 2 香取市の人口の推移



出典) 香取市 (2023) p.332

2) 香取市 (2023) p.332。

令和6（2024）年1月1日の住民基本台帳人口³⁾は70,791人（31,385世帯）であるが、香取市の人口ビジョン⁴⁾によれば、表1のと

おり、減少傾向が長期的に続き、2050年には38,257人と、2020年人口に比べ、約53%まで減少する見込みである。

表1 香取市の将来人口の推計

図表36：【今回】2020（令和2）年国勢調査を基礎とした独自推計

	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)	2040年 (令和22年)	2045年 (令和27年)	2050年 (令和32年)	2055年 (令和37年)	2060年 (令和42年)	2065年 (令和47年)
総人口	72,356	68,163	63,616	54,596	48,870	43,343	38,257	33,582	29,295	25,317
年少人口 (0～14歳)	6,706	5,453	4,277	4,301	3,757	3,263	2,794	2,382	2,029	1,745
生産年齢人口 (15～64歳)	38,719	34,637	30,880	26,201	22,146	19,003	16,421	14,137	12,253	10,519
老年人口 (65歳以上)	26,932	28,072	28,460	24,094	22,967	21,076	19,042	17,064	15,013	13,053

※年齢不詳人口を各年齢区分に按分し、推計しています。

出典）香取市（2023）p.335

2. 香取市の経済・ビジネス

（1）香取市の地域経済の概況

RESAS（地域経済分析システム）⁵⁾の「地域経済循環図」（図3）により、香取市の地域経済の概況を見ていくことにする。

RESASの地域経済循環図は、「地域内での生産額」を基準にしたときに、支出と分配でどの程度、他の地域に頼っているのかが分かるように工夫されている⁶⁾。つまり、地域経済循

環図を活用することにより、地域経済の全体像及び各段階（生産、分配、支出）におけるお金の流出入状況が把握可能となり、いわば地域経済循環の観点から、グローバルなつながりを可視化するツールと言えるのである。

以下では、RESASの地域経済循環図（図3）とその関連データ⁷⁾を活用し、生産（付加価値額）面、分配（所得）面、支出面から、香取市地域経済の特徴を明らかにしていく。

3) 香取市ウェブサイト「人口・統計（人口）」

https://www.city.katori.lg.jp/smph/government/jinko_tokei/jinko/index.html による。

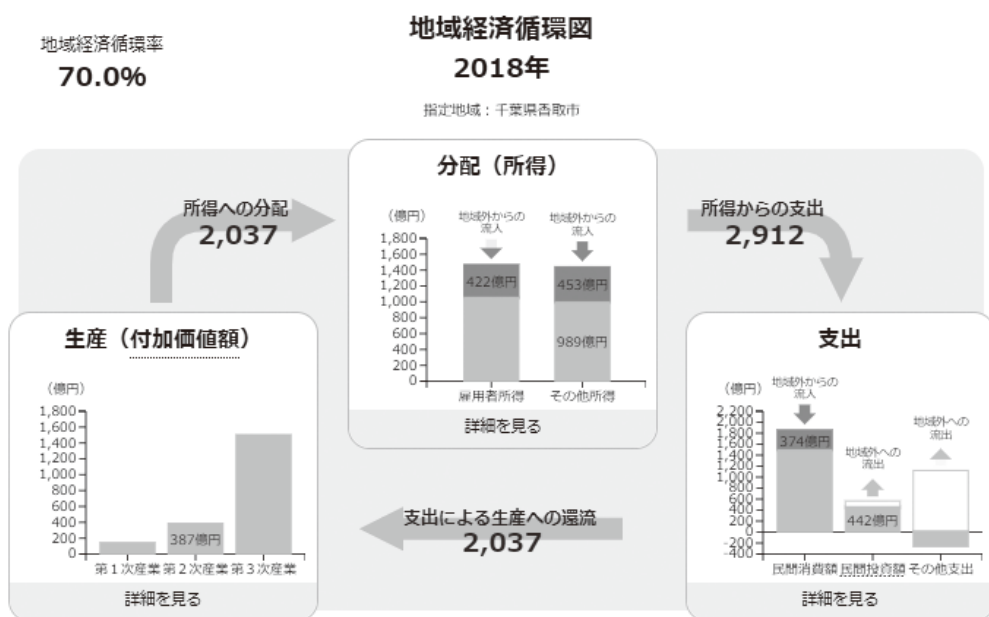
4) 香取市（2023）pp.354-355。

5) <https://resas.go.jp/#/13/13101>

6) 枝廣（2018）p.49。

7) RESASの地域経済循環図では同図の「詳細を見る」から一人当たりの付加価値額とその全国順位を把握することが可能である。なお、順位は、全国1,741市区町村におけるものである。

図3 地域経済循環図（香取市：2018 年）



出典）RESAS「地域経済循環マップ・生産分析 産業分類」（香取市）

①生産（付加価値額）面

2018 年における、総生産額（付加価値額）は 2,037 億円で、第 3 次産業の生産額が大きくなっている。

産業分類別にその内訳を確認していくと、第 1 次産業の生産額は 145 億円である。当該産業の従業者 1 人当たりの付加価値額は 354 万円で、483 位となっている。第 2 次産業の生産額は 387 億円である。当該産業の従業者 1 人当たりの付加価値額は 595 万円で、1,396 位となっている。第 3 次産業の生産額は 1,505 億円である。当該産業の従業者 1 人当たりの付加価値額は 790 万円で、994 位となっている。

香取市の第 1 次産業は他市区町村と比較して、労働生産性（従業者 1 人当たり付加価値額）が高くなっている点に特徴がみられる。

②分配（所得）面

「分配（所得）」では、地域産業が稼いだ付加価値額がどのように所得として分配されたかを把握することができる。各棒グラフは、地域内の住民・企業等に分配された所得の総額を示している。

「分配（所得）」は、雇用者に支払われた「雇用者所得」と、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の「その他所得」で構成される。また、地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が少ない場合は、その差額が赤色で表示され、地域外から所得が流入していることを意味する。逆に、地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が多い場合は、その差額が空白の四角で表示され、所得が地域外に流出していることを意味する。

①でみたとおり、香取市の地域産業は2,037億円の付加価値額を生み出しているが、分配（所得）では2,912億円となっている。つまり、875億円の流入が見られる。図3の左上には、地域経済循環率が示されている。香取市は70.0%であるが、これは地域の所得のうち、70.0%を地域の生産が支えていることを意味する。

香取市に分配された「雇用者所得」とその内訳をみると、所得（地域内勤務者ベース）1,048億円と地域外からの流入422億円となっている。地域外からの流入は、市外から雇用者所得を獲得していることを意味し、同市がベットタウンとしての性格を持つことを示している。また、雇用者所得の地域外からの流入は、地域内の働く場を増やすことができないか、と考えることができる。

一人当たり雇用者所得は198万円で、1,158位となっており、他市区町村と比較して低位であるといえる。

香取市内に分配された「その他所得」とその内訳をみると、所得（地域内勤務者ベース）989億円と地域外からの流入453億円となっている。

以上のことから、香取市は市外から「雇用者所得」と「その他所得」を獲得していることが分かる。

③地域経済の支出面

「支出」では、地域内の住民・企業等に分配

された所得がどのように使われたかを把握することができる。「支出」は、住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移輸出入収支額⁸⁾等を示す「その他支出」で構成されている。

図3の各棒グラフは、地域内で消費・投資された金額を示している。地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味する。逆に、地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が多い場合は、その差額が赤色のグラフとして表示され、支出が地域外から流入していることを意味する。

香取市の「民間消費額」の内訳をみると、所得（地域内勤務者ベース）1,048億円、地域外からの流入422億円となっており、地域外への流出は無い。これは、地域内だけでなく、地域外からの消費（買い物・観光等）を受け入れる力があることを示している。

R E S A Sでは、地域内の住民・企業等が支出した金額に対する流出入額の比率を示す「支出流出入率」を把握することができるが、「民間消費額」の「支出流出入率」は25.2%、207位と他地域に比べて優位にある。

香取市の「民間投資額」の内訳は、支出（地域内ベース）442億円、地域外への流出127億円である。民間投資額の22%が地域外に流

8) その他支出は、「政府支出」＋「地域内産業の（地域外への）移輸出－（地域外からの）移輸入」により構成される。例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合）は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

出していることとなり、「民間投資額」の支出流出率は-22.3%（973位）である。また、地域外からの流入は見られないことから、地域外からの民間投資を香取市内に呼び込めていないことを示している。

香取市の「その他支出」の内訳は、地域外への流出1,122億円、支出（地域内ベース）-264億円である。「その他支出」の「支出流出率」はこれを反映し、-130.8%、1,653位と低位にある。

以上のことから、香取市は内需に大きく依存しているといえる。また、市外から民間消費を獲得する一方で、市外からの民間投資は無く、民間投資額の一部やその他支出は市外に流出していることが分かる。

④地域経済循環図からみた香取市の課題

RE S A Sによる地域経済循環図（経済的なグローバルなつながり）の概況は、以上のとおりであるが、地域内再投資力論⁹⁾や漏れバケツモデル¹⁰⁾の観点からみた香取市の課題について、考察を加えていく。

漏れバケツモデルにおいては、いったん地域に入ったお金を。どれだけ地域内で循環し、滞留させるかが重要であり、いかに地域から出ていくお金を減らすかが重要とされている¹¹⁾。

より具体的には、地域経済循環図の支出面において、「民間投資（設備投資）」が流出すると

他地域の生産拡大に寄与することになるが、この設備投資を地域内を行うことで地域の生産面にその分が還流することになる¹²⁾。

また、「その他支出」においては、地域内の需要に対して地域内の企業の供給が少ない場合に地域外から財・サービスが流入し、所得が流出することになる¹³⁾。

つまり、支出面において、民間消費、民間投資が地域外から流入し、その他支出においても流入している状態であれば、これら支出面の所得の流入が生産面に還流され、さらには所得面も向上していくことになる。

以上の観点から地域経済循環図を活用、再整理し、いわば香取市の地域経済における「モレの見える化」を明確化したものが、図4である。図4の分析をとおして見えてくる香取市の課題は、入り口段階となる、生産面（付加価値額）においては、地域の稼ぐ力を向上させること、つまり、生産性の向上による付加価値額の向上に向けた取り組みが必要となるであろう。

また、「地域内に循環」と「地域外からの流入」を増やす、つまり、地域内外からさらに分配（所得）を得ることに加えて、分配（所得）で得た所得を地域内で循環させるため、「民間投資」と「その他支出」における漏れバケツの穴（図中の「地域外に流出」）をできるだけ小さくするための取り組みが必要となるであろう。

9) 岡田（2022）pp.175-178。

10) 枝廣（2018）pp.19-22。

11) 同前 p.22。

12) 日本政策投資銀行・価値総合研究所（2019）p.157。

13) 同前 p.158。

図4 地域経済における「モレの見える化」（香取市：2018年）

地域経済のモレの見える化（香取市：2018）

【生産・付加価値額】

1次産業	2次産業	3次産業	小計（億円）
145	387	1,505	2,037

【分配・所得】

地域内に循環		地域外へ流出	
雇用者所得	その他所得	雇用者所得	その他所得
1,048	989	0	0
① 2,037億円	③ 0億円		

地域外から流入

雇用者所得	その他所得
422	453
② 875億円	

2,912 億円（分配・所得＝生産＋流入－流出）

【支出】

地域内に循環			地域外へ流出		
民間消費	民間投資	その他	民間消費	民間投資	その他
1,486	442	-264		127	1,122
④ 1,664億円	⑥ 1,249億円				

地域外から流入

民間消費	民間投資	その他
374	0	0
⑤ 374億円		

→④＋⑤ 支出による生産への還流

2,037 億円（支出＝分配・所得＋流入－流出）

注）四捨五入等の関係で合計が一致しない箇所がある。

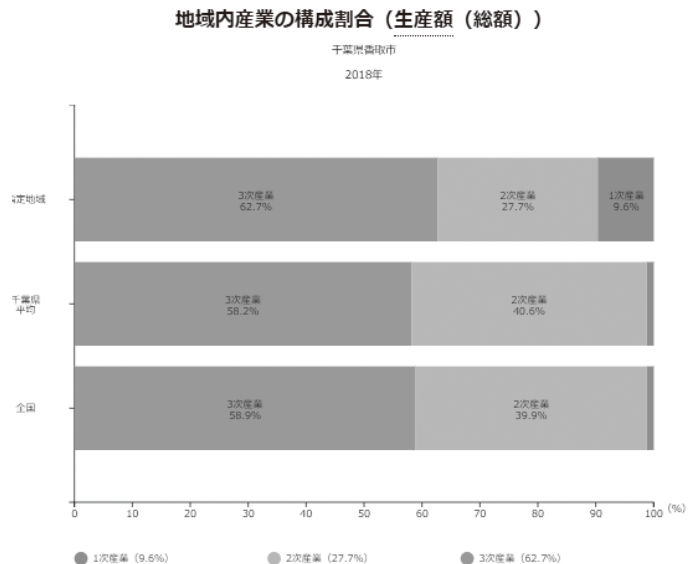
出典）著者（林）作成。

（2）地域産業の構成とその特徴

以下では、地域経済循環図により把握した、グローバルなつながりを念頭に、地域産業の構成とその特徴を見ていくことにする。

まず、RESASの「生産分析」によれば、香取市の2018年の生産額（総額）は3,492億円である。また、地域内産業の内訳は、第3次産業が最も多く62.7%、続いて、第2次産業が27.7%、第1次産業は9.6%となっている。

図5 地域産業の構成割合（香取市：2018年）



出典）RESAS「地域経済循環マップ・生産分析 産業分類」（香取市）

この生産額（総額）の内訳を産業中分類で見ると、図6のとおり、住宅賃貸業（381億円）、農業（334億円）、保健衛生・社会事業（331億円）、建設業（280億円）、小売業（203億円）、食料品（203億円）となっており、これらの産業が主に香取市経済を生産面で支えているのである。また、香取市では、他地域と比較して、農業の生産額（総額）の比重が大きい点で特徴がある。

次に、図6により、移輸出入収支の状況、つまり、市外から収入を得ている産業と市外への支出が多い産業を見ていくことにする。図6の枠内のうち上段が生産額、下段が移輸出入収支

の金額を示している。

まず、市外から収入を得ている産業についてみると、農業（222億円）、電気業（79億円）、その他の製造業（46億円）、その他のサービス業（36億円）、住宅賃貸業（29億円）などとなっている。

次に、市外への支出が多い産業についてみると、卸売業（-150億円）、建設業（-123億円）、専門・科学技術、業務支援サービス業（-121億円）、食料品（-86億円）、金融・保険業（-81億円）、小売業（-80億円）、宿泊・飲食サービス業（-58億円）などとなっている。

図6 香取市（2018年）の生産額（総額：移出入カラー）



出典）RESAS「地域経済循環マップー生産分析」（香取市）

(3) 香取市の農業

次に、香取市の第一次産業、つまり農業（農業経営者）に関する基本データを見ていくことにする。同市の耕地面積は11,100ha（千葉県内のシェア9.1%）である⁽¹⁴⁾。農業経営体数・農家数については、表2のとおり、総農家数3,285戸、このうち、販売農家数は2,645戸、自給的農家数640戸となっている。農業経営体数は、2,718経営体であるが、この内訳は、個人経営体数2,650経営体、団体経営体数68経営体（うち法人経営体数67経営体）となっ

ており、個人経営体数が97%を占めている⁽¹⁵⁾。

R E S A S（地域経済分析システム）により、品目別農業産出額を見ていくと、図7のとおり、令和3（2022）年の産出額（推計）は2,778千万円である。品目別にその内訳を見ていくと、いも類（763千円）、米（515千円）、野菜（448千円）の他、畜産関連の豚（432千円）、鶏卵（228千円）、生乳（212千円）が見られる点に特徴がある。なお、いも類のうち、かんしょは415経営体、作付面積643haとなっている。

表2 香取市の農業経営者数の概況

■ 農業経営体数・農家数 (2020年農林業センサス)		
農業経営体数	2,718 経営体	(7.7%)
うち個人経営体数	2,650 経営体	
うち団体経営体数	68 経営体	
うち法人経営体数	67 経営体	
総農家数	3,285 戸	(6.5%)
自給的農家数	640 戸	(3.9%)
販売農家数	2,645 戸	(7.7%)
主業経営体数	581 経営体	(6.4%)
準主業経営体数	360 経営体	(7.7%)
副業的経営体数	1,709 経営体	(8.3%)

出典) 農林水産省「わがマチ・わがムラ 市町村の姿

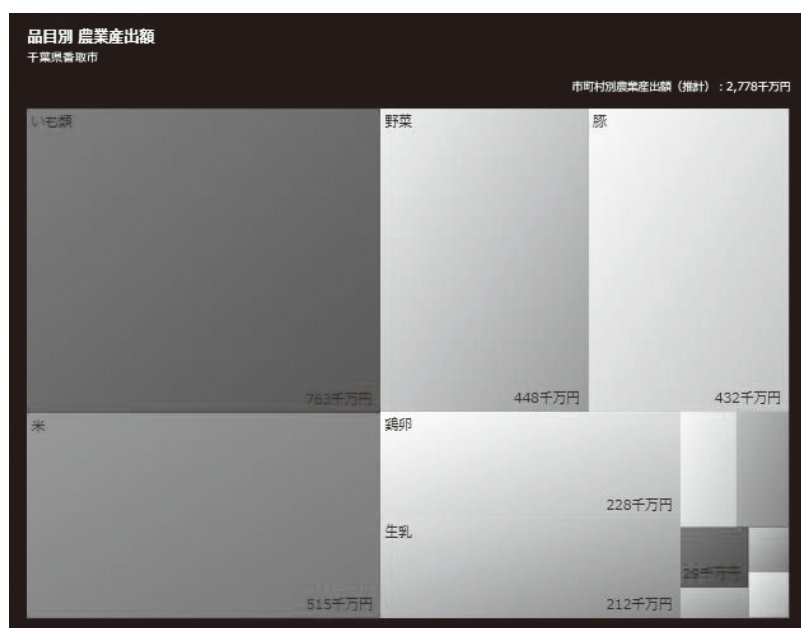
グラフと統計で見る農林水産業 基本データ 千葉県香取市」

<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/12/236/details.html>

14) 農林水産省「わがマチ・わがムラ 市町村の姿 グラフと統計で見る農林水産業 基本データ 千葉県香取市」
<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/12/236/index.html>

15) 同前

図7 品目別 農業産出額（香取市：2021 年）



出典）RESAS「産業構造マップー農業ー農業の構造」（香取市）

野菜について作付け状況を見ると、表3のとおり、にんじん（209 経営体 139ha）が最も多く、ほうれんそう（90 経営体 46ha）、さといも（78 経営体 20ha）がこれに続いている。

表3 香取市における野菜の作付け状況

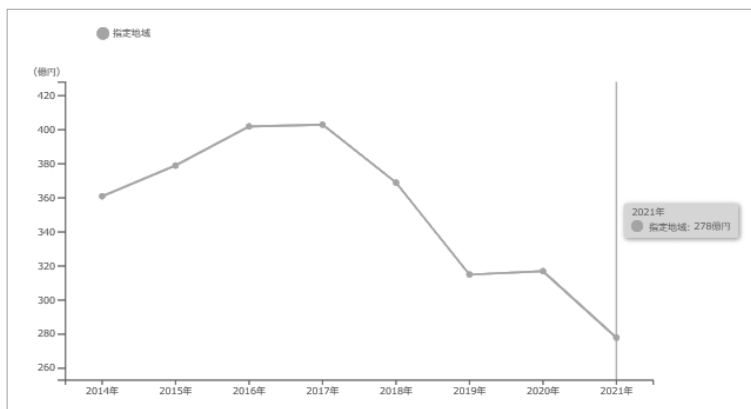
■ 野菜		
	農業経営体数	作付面積
だいこん	66 経営体	X
にんじん	209 経営体	139 ha
さといも	78 経営体	20 ha
やまのいも	22 経営体	24 ha
はくさい	18 経営体	X
キャベツ	23 経営体	10 ha
ほうれんそう	90 経営体	46 ha
レタス	9 経営体	2 ha
ねぎ	72 経営体	X
たまねぎ	7 経営体	X
ブロッコリー	30 経営体	6 ha
きゅうり	27 経営体	3 ha
なす	26 経営体	7 ha
トマト	20 経営体	6 ha
ピーマン	6 経営体	1 ha
いちご	12 経営体	X
メロン	-	-
すいか	2 経営体	X
その他の野菜	242 経営体	190 ha

出典）農林水産省「わがマチ・わがムラ 市町村の姿 グラフと統計で見る
農林水産業 基本データ 千葉県香取市」

<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/contents/12/236/index.html>

次に、図8により、農業産出額（総額）の時系列的推移をみていくと、平成26（2014）年（316億円）から、平成29（2017）年（403億円）にかけては、87億円の増加がみられたが、これ以降、農業産出額は大幅に減少し、令和3（2021）年は278億円となっている。

図8 農業産出額（総額）の時系列的推移（香取市）

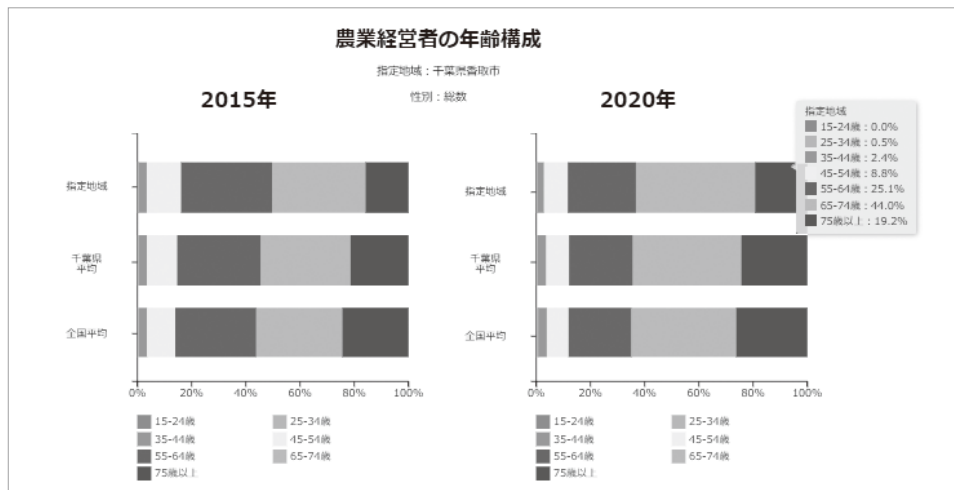


出典）RESAS「産業構造マップー農業ー農業産出額」（香取市）

続いて、農業経営者の状況について目を移していく。RESAS（地域経済分析システム）により、まずは、農業経営者の年齢構成を確認していく。図9のとおり、65～74歳が44.0%と最も多く、55～64歳25.1%、75歳以上19.2%がこれに続いている。

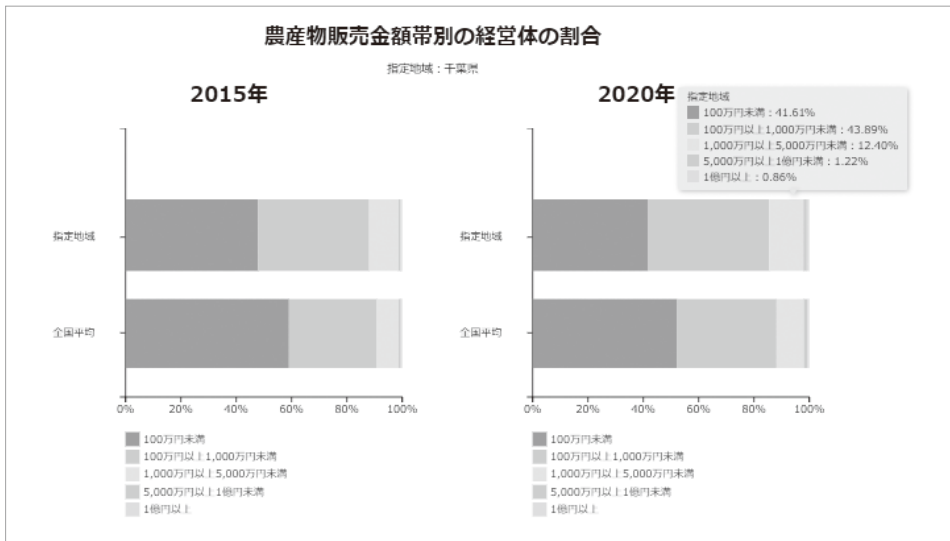
次に、図10により、農産物販売金額帯別の経営体の割合をみていくと、100万円以上1,000万円未満が43.89%と最も多く、続いて100万円未満が41.61%、1,000万円以上5,000万円未満が12.4%となっている。

図9 農業産出額（総額）の時系列的推移（香取市）



出典）RESAS「産業構造マップー農業ー農業者分析」（香取市）

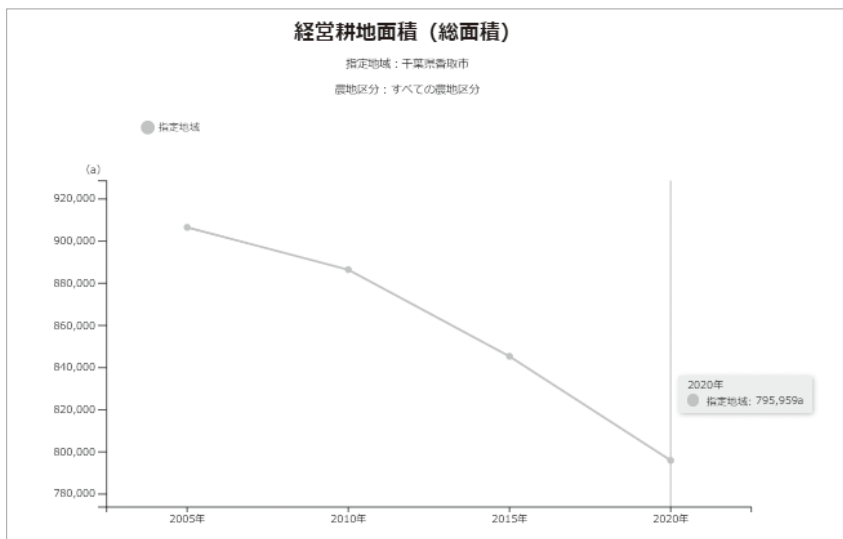
図 10 農産物販売金額帯別の経営体の割合（香取市）



出典）RESAS「産業構造マップー農業ー農業者分析ー農産物販売金額帯別の経営体の割合」（香取市）

最後に、経営耕地面積の時系列推移を見ていくことにする。図 11 のとおり、平成 27（2005）年の経営耕地面積（総面積）は 906,538a（アール）であったが、これ以降減少しており、令和 22（2020）年は 795,959a となり、これは平成 27（2005）年比 110,579a 減である。

図 11 経営耕地面積の時系列推移（香取市）



出典）RESAS「産業構造マップー農業ー農地分析」（香取市）

(4) 香取市の製造業

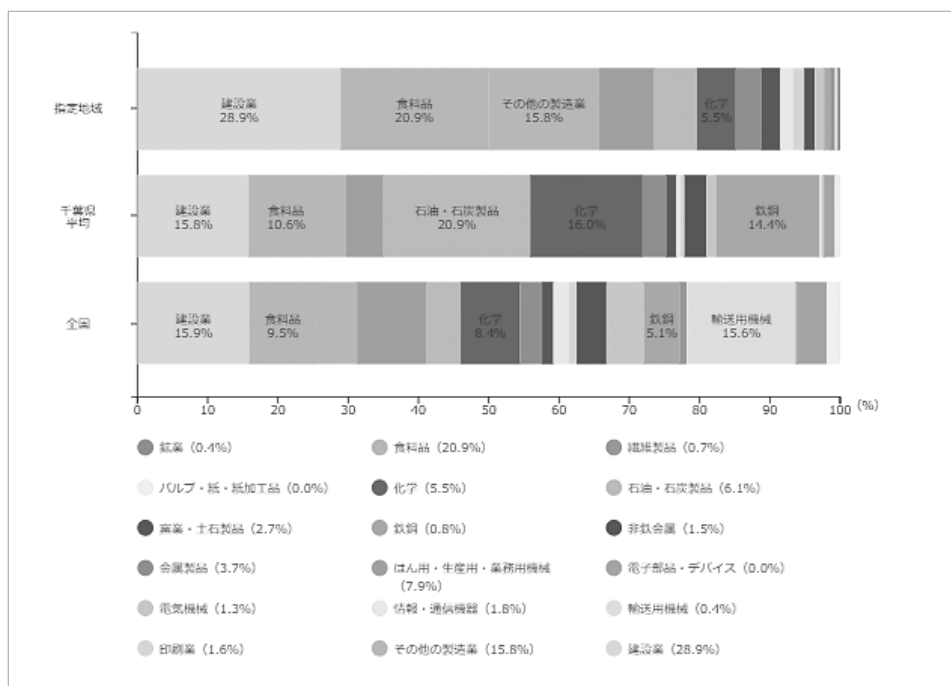
次に、香取市の第二次産業について見ていくことにする。RESASにより、まずは、香取市における産業構成割合の比較(生産額(総額))を確認すると、図12のとおりとなる。

香取市の第二次産業では、建設業(28.9%)、食料品(20.9%)、その他の製造業(15.8%)が高い割合を占めている。これは千葉県平均、全国平均と比較しても高い点の特徴となっている。一方で、石油・石炭製品、化学、鉄鋼、輸

送用機械の割合は小さくなっている。

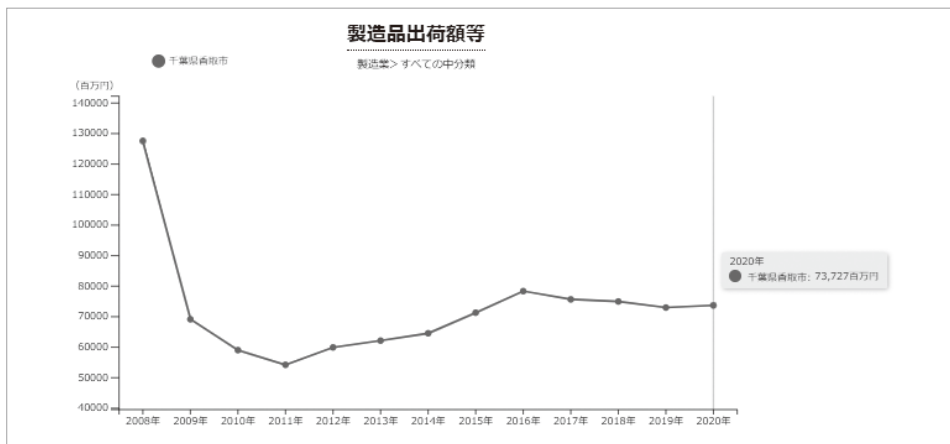
次に、香取市における製造品出荷額等の推移をみていくことにする。図13のとおり、平成20(2008)年には約1,276億円であったが、大幅に減少し、平成23(2011)年には約542億円まで下落した。その後、平成28(2016)年には約784億円まで回復したが、横ばい、微減傾向が続き、令和2(2020)年は737億円となっている。

図12 第二次産業・産業構成割合の比較(生産額(総額))



出典) RESAS「地域経済循環マップー生産分析」(香取市)

図 13 製造品出荷額等の推移（香取市）



出典：RESAS「産業構造マップー製造業－製造品出荷額等」（香取市）

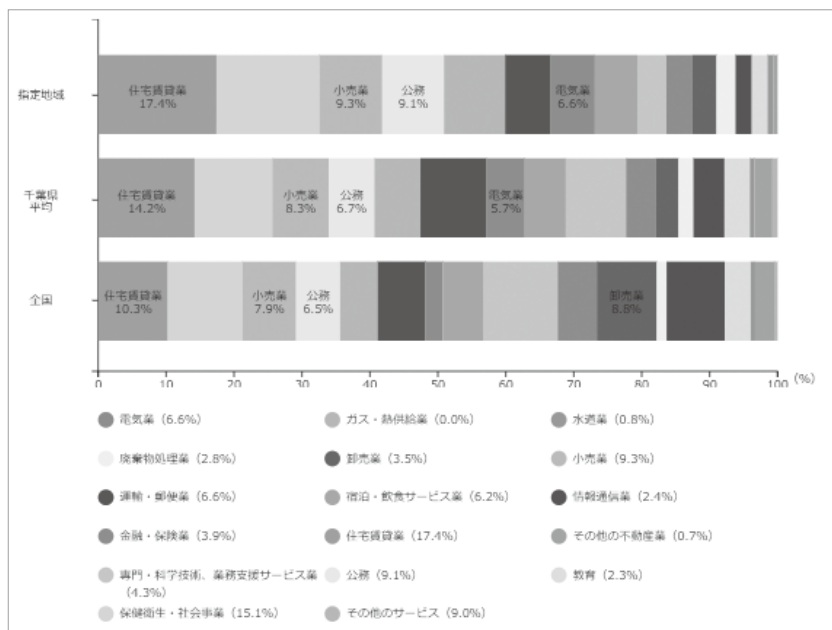
（５）香取市の第三次産業

次に、香取市の第三次産業について見ていくことにする。RESASにより、まずは、香取市における産業構成割合の比較（総生産額）を確認すると、図 14 のとおりとなる。

香取市の第三次産業では、住宅賃貸業

（17.4%）、保健衛生・社会事業（15.1%）、小売業（9.3%）その他のサービス業（9.0%）が高い割合を占めている。これらは千葉県平均、全国平均と比較しても高い点の特徴となっている。一方で、運輸・郵便業や情報通信業の割合は小さくなっている。

図 14 第三次産業・産業構成割合の比較（生産額（総額））



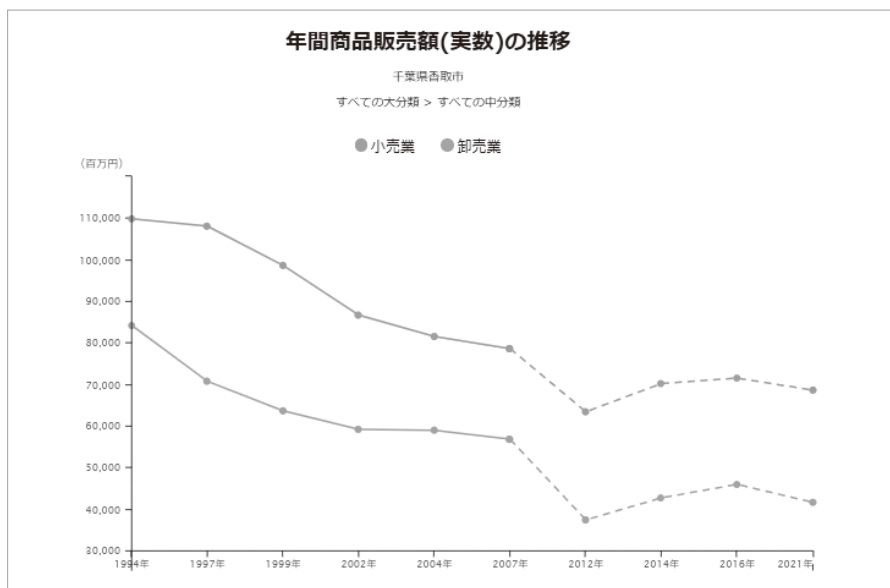
出典）RESAS「地域経済循環マップー生産分析」（香取市）

（６）香取市の小売・卸売業

図 15 により、比較可能な平成 24（2012）年から令和 3（2021）年までの間¹⁶⁾における、年間商品販売額（実数）の推移を見ていくことにする。小売業は、平成 24（2012）年は約

633 億円であったのに対して、令和 3（2021）年は約 685 億円と微増傾向にある。卸売業は、平成 24（2012）年は約 374 億円であったのに対して、令和 3（2021）年は約 418 億円となり、小売業と同様に微増傾向にある。

図 15 年間商品販売額（実数）の推移（香取市）



出典）RESAS「産業構造マップー小売・卸売業ー商業の構造」（香取市）

（７）「稼ぐ力分析」から見た香取市の姿

地域の稼ぐ力を向上させるための取り組みを検討する前段として、RESASによる「影響力・感応度分析」について見ていくことにする。

「影響力（係数）」とは、当該産業に対する新たな需要が、全産業（調達先）に与える影響の強さを示し、数値が大きいほど、その産業の調達先が地域内に多いということとなる。「感応度（係数）」とは、全産業（販売先）に対する新た

な需要による当該産業が受ける影響の強さを示し、数値が大きいほど、その産業の販売先が地域内に多いということになる。

香取市の 2018 年における「影響力・感応度分析」結果は、図 16 のとおりである。同図右上の第 1 象限は、影響力、感応度がともに大きいことから、地域経済を牽引する主力産業群となりえるものである。香取市では、農業（影響力係数 1.18、感応度係数 1.22）、食料品（1.18、

16 RESAS の注記によれば「グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、『商業統計調査』と『経済センサスー活動調査』の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している」とされている。

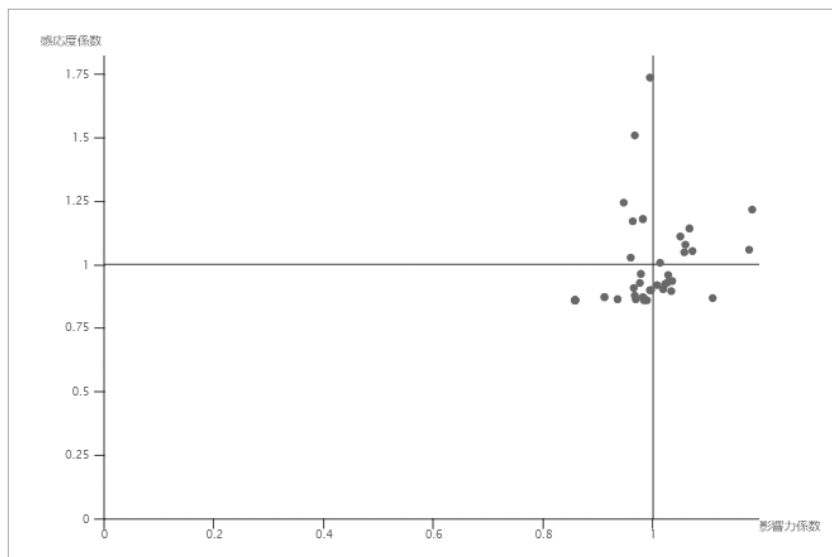
1.06)、鉄鋼 (1.07、1.05)、非鉄金属 (1.07、1.05)、その他の製造業 (1.05、1.11)、化学 (1.06、1.08)、石油・石炭製品 (1.06、1.05)、情報通信産業 (1.01、1.01) が第 1 象限に分類されている。

同図左上の第 2 象限は、影響力係数は低いものの、感応度係数が高いことから、主力産業群に牽引されて揭示波及効果が見込める産業群である。香取市では、専門・科学技術、業務支援サービス業 (1.00、1.73)、運輸・郵便業 (0.97、1.51)、

卸売業 (0.95、1.24)、金融・保険業 (0.98、1.18)、その他のサービス業 (0.96、1.17)、小売業 (0.96、1.03) となっている。

香取市における課題は、第 1 象限、第 2 象限に分類される産業の構成割合が低い点にある。第二次産業のうち生産額（総額）に占める割合の高かった建設業 (1.03、0.89) は第 4 象限（右下）に、第三次産業のうち生産額（総額）に占める割合の高かった住宅賃貸業 (0.91、0.87) は第 3 象限（左下）に位置している¹⁷⁾。

図 16 香取市産業の影響力・感応度分析（産業別）

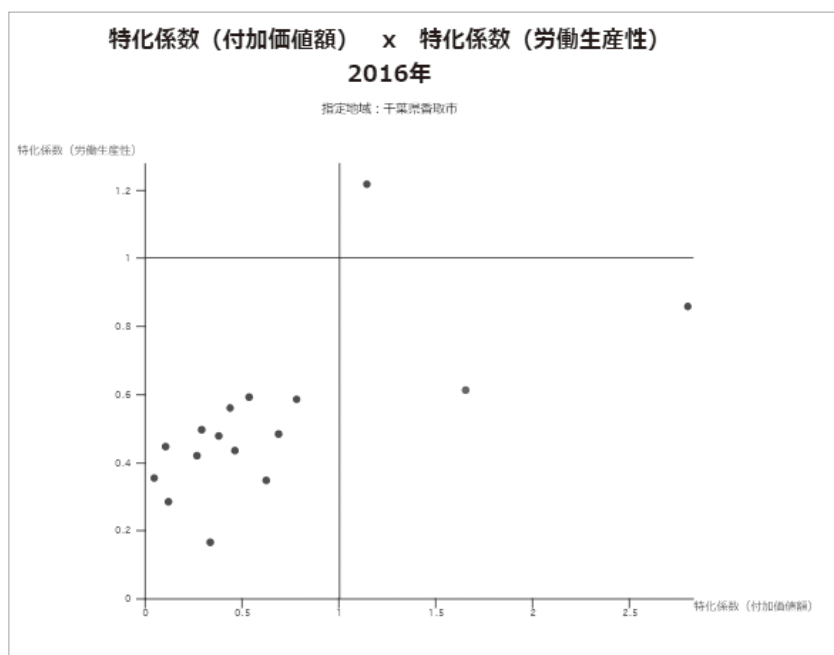


出典) RESAS「地域経済循環マップー生産分析ー影響力・感応度分析」

次に、稼ぐ力分析として、香取市における特化係数（付加価値額）と特化係数（労働生産性）のクロス分析を行った。その結果は、図 17 のとおりである。

17) 第 3 象限は他産業との関連性が低く、経済波及効果が低い産業群と分類され、第 4 象限は経済波及効果が高いが、他産業との関連性が低い産業群と分類されている。

図 17 香取市における産業別特化係数のクロス表（2016 年）



出典）RESAS「産業構造マップー全産業一稼ぐ力分析」（香取市）

図 17 のとおり、特化係数（付加価値額）と特化係数（労働生産性）の両方が 1.0 を超えているのは、金属加工業（付加価値額 1.15・労働生産性 1.22）である。

また、特化係数（付加価値額）が 1.0 を越えているのは、木材・木製品製造業（家具を除く）（付加価値額 2.80・労働生産性 0.86）、食品製造業（付加価値額 1.65・労働生産性 0.61）である。これらは、中分類による分析であるが、大分類では農業、林業（付加価値額 14.48・労働生産性 0.19）が高い状況となっている。

労働生産性 1.19）が高い状況となっている。

（8）分配（所得）面：雇用者所得の特徴

雇用者所得は、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給与等をさしている。香取市の雇用所得（総額）の構成を見ると、図 18 のとおり、保健衛生・社会事業、建設業、小売業、公務、運輸・郵便業などが続いている。また、農業の雇用者所得は、比較的小規模な構成額となっている。

図 18 雇用者所得の総額（2018 年）香取市



出典）RESAS「産業構造マップー生産分析（雇用者所得）」（香取市）

（9）中学校・高等学校の進路状況

香取市における、市内中学校卒業者の進路状況は表4のとおりであり、就職率は0.2%となっている。また、高等学校卒業者の進路状況は表5のとおりであり、就職率は13.2%～17.3%となっている。

表4 中学校卒業者の進路状況

53. 中学校卒業者の進路状況

(各年5月1日現在)

区 分	計			A 高等学校等 進学者		B 専修学校 (高等課程) 進学者		C 専修学校 (一般課程) 入学者		D 公共職業能力 開発施設等 入学者		E 就職者		F 左記以外 の者及び 死亡・不詳	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和元年	644	326	318	323	317	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1
令和2年	594	308	286	308	284	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
令和3年	563	274	289	269	288	-	1	-	-	-	-	1	-	4	-

区 分	再 掲								高等学校 等進学率	専修学校 (高等課程) 進学者	就職率
	Aのうち 他県へ の進学者	A,B,C及びDのうち 就 職 者				高等学校 等進学率		専修学校 (高等課程) 進学者			
		計	Aの うち	Bの うち	Cの うち	Dの うち	(%)	(%)	(%)		
令和元年	30	-	-	-	-	-	99.4	0.2	-		
令和2年	33	-	1	-	-	-	99.7	-	0.2		
令和3年	31	-	-	-	-	-	98.9	0.2	0.2		

資料 学校基本調査

出典）「香取市統計書（令和3年版）」p.93

表5 高等学校卒業者の進路状況

55. 高等学校卒業者数及び進学率・就職率

(各年5月1日現在)

区 分	計			A 大学等 進学者		B 専修学校 (専門課程) 進学者		C 専修学校 (一般課程) 等入学者		D 公共職業能力 開発施設等 入学者		E 就職者 (A～Dを除く)		F 一時的な 仕事に 就いた者		G 左記以外 の者及び 不詳・死亡	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和元年	721	318	403	186	220	44	80	25	12	1	-	46	79	4	4	12	8
令和2年	716	336	380	214	201	46	93	20	15	-	-	51	62	1	4	4	5
令和3年	720	356	364	228	220	54	88	-	-	3	-	47	49	-	-	24	7

区 分	再 掲					大学等 進学率 (%)	専修学校 (専門課程) 進学者 (%)	就職率 (%)
	A,B,C及びDのうち 就 職 者							
	計	Aの うち	Bの うち	Cの うち	Dの うち			
令和元年	-	-	-	-	-	56.3	17.2	17.3
令和2年	-	-	-	-	-	58.0	19.4	15.8
令和3年	-	-	-	-	-	62.2	19.7	13.2

資料 学校基本調査

出典)「香取市統計書(令和3年版)」p. 94

(10) 香取市の就業率(2020年)

「労働力状態」とは、15歳以上の人について、調査年の調査週間に「仕事をしたかどうかの別」により区分するものであるが、香取市の

労働力状態は表6のとおりである。労働力人口(就業者と完全失業者を合わせた人数)の総数は36,747人であり、就業者は35,218人、完全失業者は1,529人となっている。

表6 労働力状態別15歳以上人口(香取市)

項目名 ② 他項目から選択 ②		千葉県香取市	
		データ	順位 ②
A	総人口(総数) ① 【人】	72,356	388位 / 1741
B	労働力人口(国勢調査) ① 【人】	36,747	370位 / 1741
C	就業者数(国勢調査) ① 【人】	35,218	371位 / 1741
D	完全失業者数(国勢調査) ① 【人】	1,529	340位 / 1741
E	完全失業率(国勢調査) ① 【%】	4.2	407位 / 1740

注) 数値はいずれも2020年国勢調査による。

出典) 統計ダッシュボード(香取市)

<https://dashboard.estat.go.jp/radarChart?screenCode=00560®ionCode=13000>

(11) 地方自治体の財政状況に関するデータ (2021年度)

RESASの「地方財政マップ（自治体財政状況の比較）」によれば、香取市の主要財政指標比較レーダーチャートは、図19のとおりである。主要指標のうち、全国平均を大きく上回っているのは、実質公債費比率（154.55/全国100）と将来負担比率（124.03/全国100）である。

香取市の財政力指数¹⁸⁾は0.52（全国平均0.50）である。また、一人当たり地方税は12.2万円（千葉県内35位、全国974位）である。

3. 研究・開発

(1) グローバルニッチトップ企業（2020年）

香取市には該当する企業はなかった。

(2) はばたく中小企業・小規模事300社（2017～2021年）

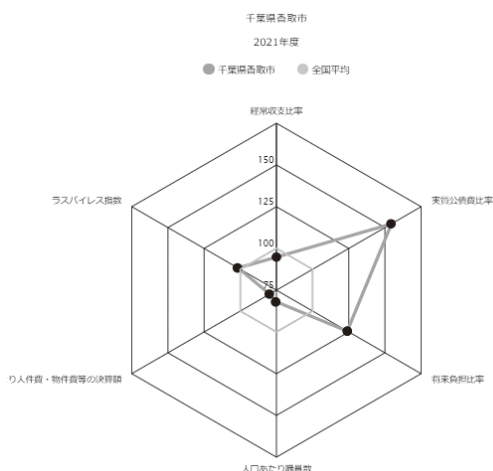
香取市には該当する企業はなかった。

(3) 特許数・創業比率・表彰

RESASの「企業活動マップ（研究開発・特許分布図）」によれば、香取市では35件（特許庁「特許情報」（2017年9月、2018年9月、2019年10月、2020年11月、2021年11月、2023年11月の合計）の特許を取得している。

RESASの「企業活動マップ（企業情報・創業比率）」によれば、香取市の創業比率（2014年～2016年）は3.33%である。全国平均5.04%、千葉県平均5.28%から比べると低率

図19 香取市の主要財政指標
レーダーチャート（2021年）



出典) RESAS「地方財政マップー自治体財政状況の比較」(香取市)

にとどまっている。

RESASの「企業活動マップ（表彰・補助金採択）」によれば、我孫子市の表彰企業のデータはない。

4. 香取市の観光

(1) 観光地の数・評価

大手旅行ウェブサイト「トリップアドバイザー」¹⁹⁾により、香取市の「観光スポット」を検索すると75件がヒットする。ランキングでは、11位は「香取神宮」（口コミ数324件）、2位が「香取市佐原伝統的建造物群保存地区」（口コミ数194件）、続いて、「伊能忠敬記念館」（口コミ数110件）、「道の駅水郷さわら」（口

18) 財政力指数は、地方公共団体の財政力を示す指数で、地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を、基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値である。財政力指数が1を超える場合、当該団体は地方交付税の不交付団体となるが、その団体は、その超えた分だけ標準的な水準を超えた行政を行うことが可能となる。また、財政力指数が1以下の団体であっても、1に近い団体ほど普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえることができる。

コミ数 121 件)、「伊能忠敬旧亭」(口コミ数 104 件) などとなっている。

(2) 宿泊施設・観光案内所

香取市内の宿泊施設には、佐原地区 10 施設、小見川地区 2 施設、山田地区 2 施設、栗原地区 1 施設となっている²⁰⁾。

市内の観光案内所(水郷佐原観光協会)は、駅前案内所(JR 佐原駅前)、町並み中央案内所(観光の中心地小野川沿い)、JR 佐原駅観光交流センター(JR 佐原駅構内)、佐原町並み交流館(小野川・忠敬橋の近く)が設置されている。また、水郷佐原観光協会による観光情報サイトとして「旅なび! 佐原」²¹⁾が運用されている。

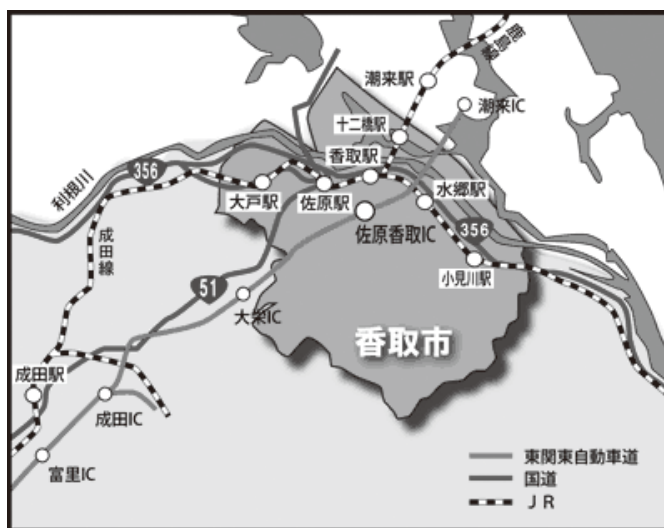
(3) 香取市への交通アクセス

香取市への交通アクセスは、図 19 のとおりである。交通機関別にみていくと。電車利用では、東京駅から JR 総武線、総武本線、成田線を利用し、およそ 100 分を要する、自動車利用では、首都高速道路高谷 JCT から東関東自動車道佐原香取 I.C まで約 66km となっている。東京駅八重洲南口などから「都市間輸送バス」銚子～東京駅・浜松町線の利用や、東京駅八重洲南口から関鉄バス、銚田・麻生ルートの利用も可能である。

(4) 香取市への訪問経験・訪問意向

香取市を訪問する人々の中で、「行楽・観光」

図 20 香取市への交通アクセス



出典) 香取市ウェブサイト「交通アクセス」

<https://www.city.katori.lg.jp/government/profile/access.html>

19) トリップアドバイザー (Trip advisoradvisor) により「香取市 観光」との検索した結果である。

(2024 年 2 月 6 日検索・閲覧)。

20) 香取市役所ウェブサイト「かとり観光 Navi」宿泊施設による。

<https://www.city.katori.lg.jp/sightseeing/annai/yado.html>

21) <https://www.suigo-awara.ne.jp/?p=we-page-top-1>

を目的とする人々はどのくらいいるのであろうか。株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査 2023」²²⁾における「訪問経験（行楽・観光のため）」は、2021 年は 5.7%、2022 年は 4.1%、2023 年は 4.3%である。2023 年について比較すると、千葉県平均 7.5%、全国平均 7.5%を大きく下回っている。

次に、同調査²³⁾により、香取市の「魅力度」「認知度」「観光意欲度」についてみていくことにする。2023 年における魅力度は 4.6 点、全国順位は 718 位 /1,000、認知度は 21.0 点、全国順位は 525 位 /1,000、観光意欲度は 16.3 点、全国順位は 690 位 /1,000 であった。

このうち、魅力度の内訳をみると、「とても魅力的」1.0%、「やや魅力的」7.1%、「どちらでもない」36.1%、「あまり魅力的ではない」8.2%、「全く魅力的ではない」2.1%となっており、中立の回答者がもっとも多くなっている。また、観光意欲度の内訳をみると、「是非行ってみよう」4.2%、「機会があれば行ってみよう」24.2%、「どちらともいえない」34.3%、「あまり行きたいとは思わない」33.7%となっている。意欲度の高い回答率（「ぜひ行ってみよう」と「機会があれば行ってみよう」の合計）よりも、意欲度の低い回答率（「あまり行きたいとは思わない」）の方が高い結果となっている。

こうした回答の背景には、香取市の持つ魅力などに問題があるというよりも、市そのものの認

知度に問題があるようである。この認知度の内訳をみると、「よく知っている」2.4%、「知っている」7.2%、「少しだけ知っている」8.0%、「名前だけは知っている」37.0%、「名前も知らない」45.4%となっている。

つまり、回答者の約 5 割は、香取市を知らない状況にあり、認知度が低いから魅力度が低く、結果として、観光意欲度も低い評価結果となっているものと思われる。

（５）香取市の滞在人口

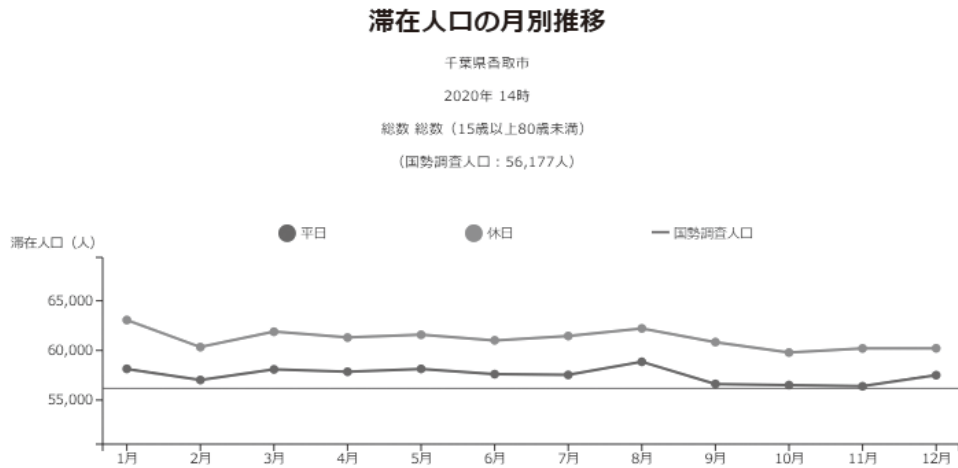
RESAS にある「滞在人口」の分析では、どの程度の人数が域外から来ているか、またどの地域からたくさん来ているかなどを把握することが可能である。滞在人口率＝滞在人口÷当該自治体の人口であるが、この率は、地域の集客力や地域活性化の K P I とすることができる。この滞在人口の把握に使われている調査手法は、スマートフォンの位置情報を利用したものであり、ここでは一定の地域に 2 時間以上とどまっていることを「滞在」とみなしている。

香取市の休日（14 時）における滞在人口率（2020 年）は、図 21 のとおり、1 倍から 1.04 倍の範囲で推移しており、県内順位は 17 位、全国順位は 409 位となっている。この様に香取市では、滞在人口が市の国勢調査人口を上回っていることが分かる。

22) 株式会社ブランド総合研究所「第 18 回地域ブランド調査 2023 個別報告書」（香取市）p.5 のデータによる。

23) 前掲・個別報告書の各数値による。

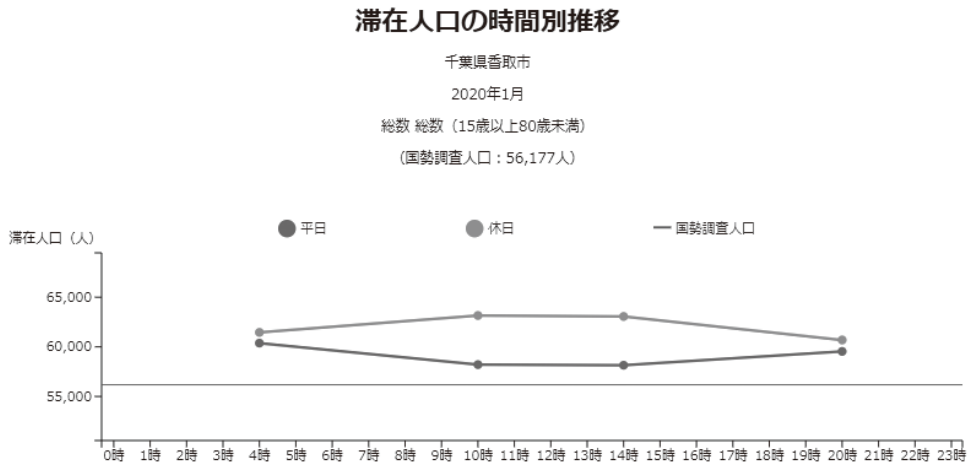
図 21 滞在人口の月別推移（香取市：2020 年）



出典）RESAS「まちづくりマップ（滞在人口率）」

次に、香取市の滞在人口の時間別推移をみると、滞在人口率は平日、休日ともに昼間（10 時、14 時）よりも、夜間（20 時、4 時）が 0.3 ポイントほど低くなっている。

図 22 滞在人口の時間別推移（香取市：2020 年）



出典）RESAS「まちづくりマップ（滞在人口率）」

（6）香取市への訪日外国旅行者数

（2023年）

RESAS「観光マップ（外国人滞在分析）」
により、香取市を訪れた訪日外国旅行者（昼間

（10 - 18）時の滞在者数）の月別状況は、図
23 - 1 のとおりである。訪日外国旅行者（夜
間（2 - 5）時の滞在者数）の月別状況は、図
23 - 2 のとおりである。

図 23-1 訪日外国旅行者（昼間）の推移（香取市：2023 年）

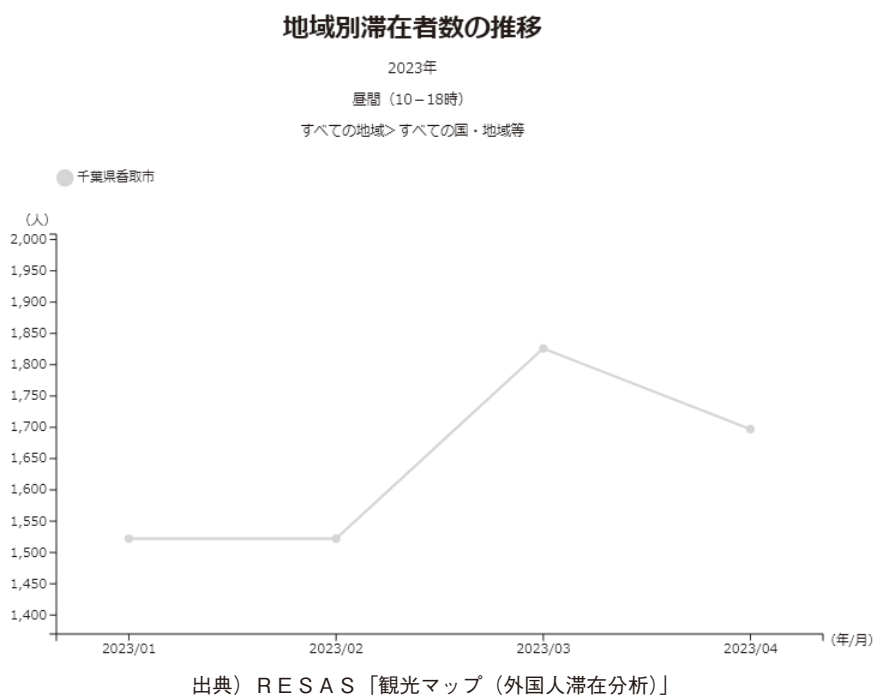
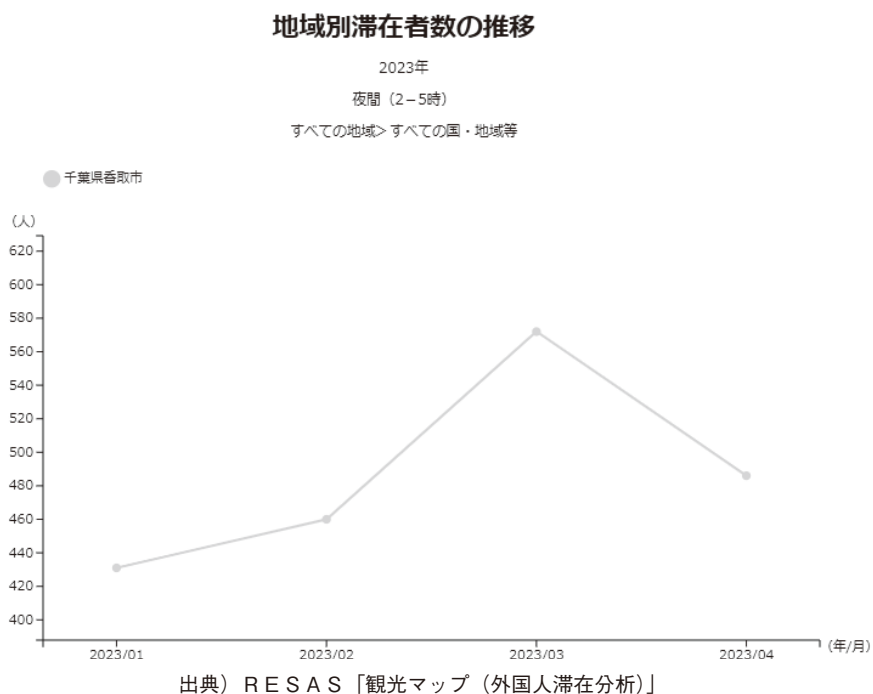


図 23-2 訪日外国旅行者（夜間）の推移（香取市：2023 年）



(7) 国際会議開催件数

国際会議開催件数（2013－2022年）は0件であった²⁴⁾。

(8) 観光客誘致活動

日本政府観光庁「観光地域づくり法人（DMO）」の登録機関は該当がなかった²⁵⁾。

(9) 自治体SNSフォロワー数

香取市には公式YouTubeチャンネルである「香取市公式動画チャンネル」²⁶⁾が開設されている。平成23年から運用されているが、登録者数は913人、94本の動画が掲載されている。

その他には、令和元年5月1日からは、イベント情報、行政情報など、香取市の最新情報を配信する「広報香取（香取市公式Facebook）」、香取市の魅力を配信する「香取市公式Instagram」を、令和5年1月からは、市内在住者向けの情報をメインに配信する「香取市LINE公式アカウント」を、令和5年12年からは、香取市の魅力を市長室から発信する「香取市TikTok公式アカウント（【香取市】市長の部屋【公式】）」などをそれぞれ運用している。

(10) 香取市の観光振興への取り組み方針

コロナ禍以降（アフターコロナ）における、香取市の観光振興への取り組み方針は、如何なるものであろうか。ここでは議会の一般質問に対する答弁から、基本的な考え方や市の施策方針を確認していく。

質問事項 観光政策について²⁷⁾

1) これまでの観光政策について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大後、香取市の観光政策への取り組み状況としては、どのようなになっていたのでしょうか。

生活経済部長答弁（要旨）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言をはじめ、様々な制限に加え、全国的に自粛ムードも広がり、各種のイベント等が中止・延期となる中、香取市におきましても、佐原の大祭、水郷おみがわ花火大会、いきいき山田鯉のぼり祭り、栗源のふるさと祭など、各地の行事・イベント等が軒並み中止となっていました。

そのような状況の中、香取市としましては、アフターコロナを見据え、観光情報をホーム

24) 日本政府観光局（JNTO）「2022年国際会議統計」の資料編1「国内都市別 国際会議開催件数一覧」により確認した。

25) 観光庁ウェブサイト「登録観光地域づくり法人『登録DMO』」

https://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000054.html

26) https://www.youtube.com/channel/UCXwZYJmIS_SGaKfS5GKD0lw

なお、この数字は2024年2月6日現在のものである。

27) 香取市議会・令和5年6月定例会における加藤裕太議員からの質問及び答弁。本資料については、香取市秘書広報課から御恵いただいた。なお、質問とその答弁についての概要は「かとり市議会だより あなた to ぎかい（No.70 2023.8.1）」のp.11にある。

ページやSNSを通じて発信し、継続的に香取市の魅力をPRするとともに、国のコロナ交付金等を活用し、安心して訪問していただけるよう、各施設等に感染症対策機器等を設置するほか、観光客の利便性を向上させる設備等の充実を図ってまいりました。

また、インバウンドの回復を見込み、任用した国際交流員や地域おこし協力隊を活用しつつ、外国人観光客の誘客の推進について、外国人目線での観光関連表示等の改善及び観光情報の発信をはじめ、外国人向け案内ガイドの充実等、受け入れ環境の整備を進めてまいりました。

2) これからの観光政策について

香取市としては、今後の観光政策について、どのような施策を行っていく予定でしょうか。

生活経済部長答弁（要旨）

今後の観光政策につきましては、コロナ禍前に香取市の観光に係る課題として捉えておりました「滞在時間の短い通過型観光」につきまして、一定数の宿泊施設や飲食店等が開業したことに加え、コロナ禍を契機として需要が増加した自然・農業体験等を含む事業メニューなど、受け入れ態勢は進んでいるものと認識しており、今後、更なる体制整備を図ってまいりたいと考えております。

このような中、インバウンドの受け入れ体制の強化にも、取り組んでまいりたいと思います。

また、今回の補正予算では、観光振興につながるキャッシュレス決済ポイント還元事業を提

案させていただいております。

この事業をはじめ、関係機関と連携し、経済効果の大きい滞在型観光の推進に、引き続き取り組んでまいります。

質問事項3) アフターコロナの

観光政策について²⁸⁾

伊藤友則市長答弁（要旨）

それでは、香取市のアフターコロナの観光政策についてお答えいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、国内外の観光需要は喪失し、訪日外国人旅行者数及び日本人を含む旅行消費額は、大幅に減少しました。

しかしながら、感染者数の減少により新型コロナウイルス感染症への不安が和らぐとともに、令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、2類から5類に移行され、佐原の町並みや市内の観光施設等にも、徐々に観光客の方が戻ってきている状況だと認識しております。

また、政府の水際対策の緩和により、インバウンドも回復してきており、市内におきましても、外国の観光客の方も増えてきている状況です。

今後につきましては、これらを好機として捉え、地域や観光関連団体と連携し、国・県の観光施策に係る補助金等を十分に活用しながら、香取市が持つ貴重な観光資源や特性を活かし、効果的な観光プロモーションを推進することにより、観光を通じた持続的な地域活性化の好循環を創出することに努めてまいる所存であります。

28) 香取市議会・令和5年6月定例会における前田誠之議員からの質問及び答弁。本資料については、香取市秘書広報課から御恵与いただいた。

質問事項4) あやめ祭りのシーズンだが現在のPRの状況は？具体的な内容は？

生活経済部長答弁（要旨）

水郷佐原あやめパークの管理・運営につきましては、指定管理者であります一般社団法人水郷佐原観光協会に委託しており、PRにつきましても、水郷佐原観光協会が主となり実施しております。

具体的なPR内容につきましては、チラシ・ポスターの作成、同協会のホームページ及びSNS（Facebook）等での周知、香取ファンクラブ会員への情報提供を行ったとのこと。

また、ちばプロモーション協議会を通じた旅行会社への商談会にも参加し、バスツアーなどの誘致にも取り組んでおります。

香取市としましては、広報かとり、ホームページ、SNSなどで観光情報として広く発信いたしております。

質問事項5) 潮来市と連携は図るのか？

生活経済部長答弁（要旨）

潮来市とは、香取市、鹿嶋市、潮来市及び神栖市の4市で構成する「東国水郷観光推進協議会」におきまして、観光客誘致のためのプロモート事業を共同で実施しております。

また、「水郷佐原あやめ祭り（5/27～6/25）」と「水郷潮来あやめまつり（5/19～6/18）」を「水郷の二大あやめまつり」と称し、一体となったチラシを作成し周知を図るとともに、「水郷佐原あやめパーク」と「水郷潮来あ

やめ園」とを行き来する無料のシャトルバスを週末に運行し、地域の魅力ある観光資源を相互に結び付け、コラボレーションすることにより、相乗効果による集客効果を図っております。

5. 香取市の交流・グローバルなつながり

（1）社会移動から見たグローバルなつながり

香取市（2023）により市町村別の転入元・転出先（社会増減）の状況を見ていくことにする。図24のとおり、転入元・転出先ともに、成田市、神栖市、千葉市、富里市、旭市が上位5団体を占めている。近隣団体との出入りが多くなっている。

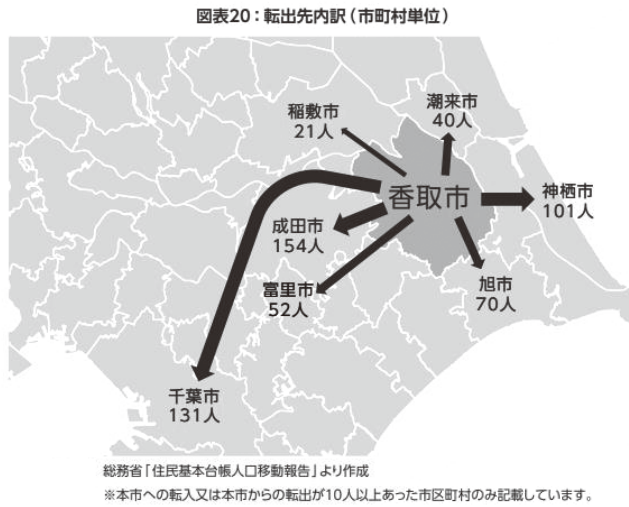
団体別に社会増減の状況を見ると、転入超過となっている団体は八街市、東庄町、佐倉市をはじめ千葉県内の団体が多くなっている一方で、転出超過となっている団体は、千葉県内の団体だけではなく、茨城県や神奈川県の団体も複数存在している。

図24-1 香取市の社会増減（転入）の概況



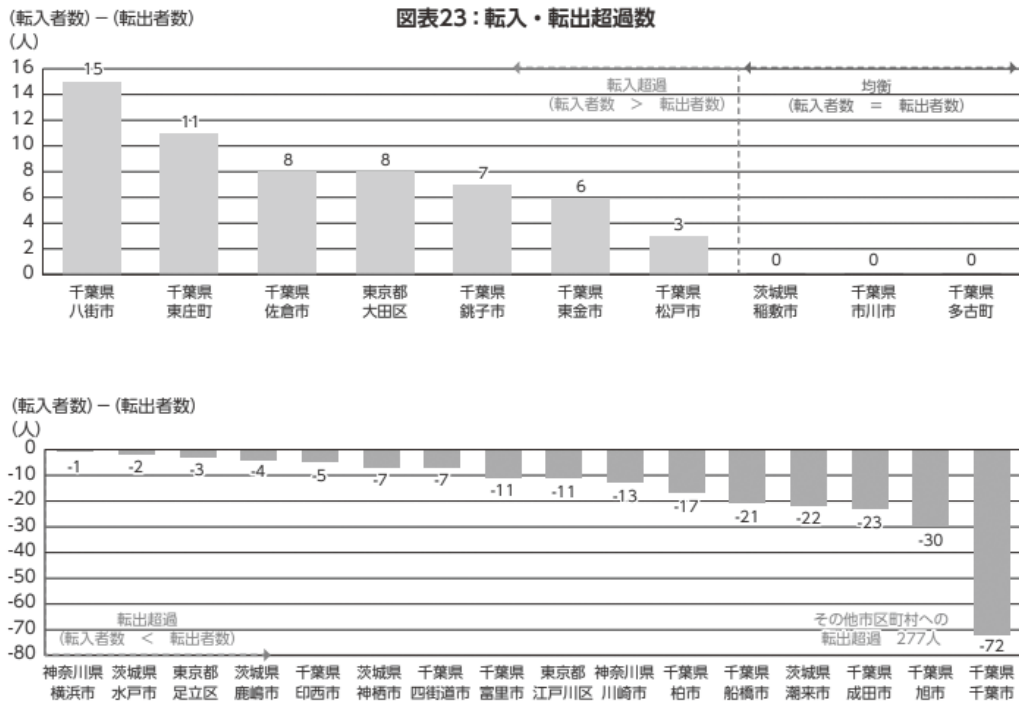
出典）香取市（2023）p. 344

図 24-2 香取市の社会増減（転出）の概況



出典) 香取市 (2023) p. 344

図 24-3 香取市の社会増減（転入・転出超過数）



出典) 香取市 (2023) p. 346

(2) 香取市の外国人住民

香取市の在留外国人数²⁹⁾は、1,351人(令和4年12月末現在)であり、前年比232人増加、県内順位は27位である。全人口(69,687人)に占める割合は1.9%となっている。

(3) 姉妹都市等提携の状況と交流活動

香取市の姉妹・友好都市等は、兵庫県川西市、福島県喜多方市、佐賀県鹿島市、茨城県つくばみらい市、サイパン市、岩手県山田町である。令和4年度の香取市姉妹都等交流事業実績は、別紙資料1³⁰⁾のとおりである。

6. グローカル・デザインの作成に向けて

* 香取市と発酵文化(食材)を中核とした 滞在型観光の提供

日本にはその土地の土壌や気候に合わせた様々な食文化があるが、香取市(佐原地区など)には、良質な米のできる日本酒や酒粕、大豆と塩と麴のできる味噌や醤油といった醸造業など、発酵文化(食材)に関連する地域資源が集積している。こうした、発酵文化(食材)を中核とした滞在型観光の具体像(グローカル・デザイン)を模索していきたい。

① 馬場酒造本店(香取市佐原)

馬場本店酒造は約340年前、天和年間(1681～1683年)に麴屋から始まった酒蔵である。

蔵出しの日本酒のほか、昔ながらの製法を守り続けている「最上白味噌」も有名。一般的な醸造用糖類は使わず、もち米と手作り麴のみで作った逸品と評されている。

② 佐原商家町ホテル NIPPONIA:

発酵フレンチと蔵元直送の日本酒が楽しめる 酒蔵レストラン

佐原のまちに点在する町屋や古民家をリノベートした分散型ホテル「佐原商家町ホテル NIPPONIA」が2018年3月にオープンしている。2021年には、先述の「馬場本店酒蔵」所有の南蔵を改装し、フロントとレストランが入るKAGURA棟として生まれ変わっている。

同ホテルが運営する古民家カフェ「VMG CAFE VMG CAFE」では、発酵文化のある佐原のフレンチシェフが考えた「発酵××かき氷」は、ふわふわの口当たりで、甘酒と発酵ベリーの自然な甘さを活かした優しい味わいをもつ。

③ 地域食材を活かした発酵フレンチ

「レストランルアン」のお料理は、千葉の銘柄牛や魚介、野菜など選りすぐりの旬食材に加え、味噌や醤油・麴・酒粕など、こだわり抜いた発酵や熟成食材をフレンチに取り入れている。ここでしか味わえない「発酵フレンチ」と蔵元直送の日本酒とのペアリングも楽しむことができる。

29) 千葉県ホームページ「令和4年12月末千葉県内在留外国人数」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kokusai/toukeidata/gaikokujinjinmin/r04zairyugaikokujinsu.html>

30) 本資料については、香取市秘書広報課から御恵といただいた。



出典 https://www.marukome.co.jp/marukome_omiso/hakkoubishoku/20221118/16913/

④全国初「発酵」をテーマとした道の駅

隣接する千葉県神崎町にある「発酵の里こうざき」は、地元食材を中心に発酵食品や関連食材が約 400 種類以上ある。こうした隣接地域との連携についても視野に入れていきたい。

⑤日本最大級のマッシュルームの産地

(香取市米野井)

発酵に関連する菌類としては、国内シェア 11 位を誇る香取の「芳源マッシュルーム」がある。これは肉厚で濃厚な香りの味わいあるマッシュルームであり、千葉を代表する名産品でもある。大きさが 10 センチ以上にもなるギガマッシュルームが、メディアに取り上げられ人気を博している。

【謝辞】

香取市におけるプロジェクト研究の実施及び本稿の作成にあたっては、伊藤友則市長様、河野節子副議長様に全面的な協力をいただいた。また、香取市役所秘書広報課秘書班鹿野愛美さんには、本稿の作成必要な資料収集についてご協力をいただいた。ここに心よりの感謝の意を表し、著者らの拙い報告書をひとまずの御礼としたい。

(別紙資料1)

令和4年度香取市姉妹都等交流事業実績

■ 交流事業 ■

【兵庫県川西市】

以下の交流事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった。

- ・源氏まつり（例年4月上旬に開催）への参加

【福島県喜多方市】

●おみがわよさこい祭り

時 期：令和4年11月13日（日）

場 所：小見川市民センター駐車場

内 容：ふるさと交流フェアに喜多方市が出店した。

そば、地酒、山菜などの販売やそば打ち披露を実施した。



以下の交流事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった。

- ・ふれあい喜多方農業まつり（例年11月上旬に開催）への参加

【佐賀県鹿島市】

令和3年度から、小学生によるオンラインでの交流事業を実施しており、令和4年度も継続して実施された。

時 期：令和4年10月から令和5年1月

場 所：市内小学校7校（オンライン）

内 容：両市の小学校の児童がオンラインにより、自分たちの住んでいる自治体を紹介し、意見交換を行った。交流は1校ずつ相対して行い、両市各7校計14校で事業が実施された。

学校名（香取市）	学校名（鹿島市）	実施時期（顔合わせ、発表①、発表②）
竟成小学校	能古見小学校	10/6、11/24、1/31
栗源小学校	明倫小学校	11/2、11/25、11/30
小見川北小学校	浜小学校	10/12、11/25、12/14
東大戸小学校	七浦小学校	10/24、11/24、12/7
わらびが丘小学校	鹿島小学校	12/6、12/8、12/21
佐原小学校	古枝小学校	11/14、12/8、12/15
水の郷小学校	北鹿島小学校	12/6、1/24、2/24



各校でのオンラインでの交流風景

【茨城県つくばみらい市】

くばみらい市「第16回つくばみらい市長杯軟式少年野球大会」参加に係る市内予選大会を開催、優勝チームが諸事情により辞退したため、準優勝チームが本大会に参加した。

予選大会は市内軟式少年野球チーム全9チームが参加し、佐原ウィナーズが優勝、佐原ジュニアナイツが準優勝であった。

本大会へは、佐原ジュニアナイツが出場したが、惜しくも初戦敗退した。

・予選大会

期 日：令和4年8月21日（日）、27日（土）

場 所：香取市与田浦運動広場

・本大会

期 日：令和4年11月6日（日）

場 所：つくばみらい市総合運動公園内野球場



8月予選大会



11月 本大会

【北マリアナ諸島自治連邦区サイパン市】

●北マリアナ日本人会が主催する秋祭りへの本市PR用品の送付

現地日本人会が主催する「秋祭り」で本市工芸品（切り絵）を配布していただき本市をPRした。

期 日：令和4年10月22日（土）

場 所：サイパン市内



日本人会秋祭りの様子

●オンライン児童交流

令和3年度に姉妹都市協定を締結したサイパン市との新たな交流事業として、サイパン市ホップウッドミドルスクールと香取中学校がオンラインにより交流を実施した。

期 日：令和5年1月23日（月）、30日（月）

場 所：香取中学校、ホップウッドミドルスクール（オンライン）

内 容：事前に用意した動画や資料を用いながら、香取市と日本の魅力を英語で説明した。サイパン市側も学校生活や伝統的な舞踊を紹介するなど、互いの文化を紹介し合うことで親睦を深めた。



ホップウッドミドルスクールとのオンラインでの交流風景

●サイパン市長とのオンライン会談

令和5年1月にラモン "RB" ホセ プラス カマチョ氏が新たにサイパン市長に就任されたことに伴い、オンラインでの会談を実施し、互いの自治体の魅力を伝え合うとともに、今後の交流事業について意見を交換した。

期 日：令和5年3月23日（木）

場 所：香取市役所、サイパン市事務所（オンライン）



姉妹都市協定締結時の写真（右：サイパン市長）

●在外公館における天皇誕生日祝賀レセプションでの地方自治体によるPR活動

例年、天皇誕生日の前後で在外公館（在外大使館・領事事務所）主催により、現地にて祝賀レセプションが行われている。在サイパン領事事務所でも行われており、サイパン市との関係構築のため、市長挨拶文を送付しアートカードと手ぬぐいを配布していただいた。



【岩手県山田町】

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年行われていた全体活動は中止したが、継続支援の観点から最小限の活動として、やまだ元気隊有志により交流活動を行った。

期 日：令和4年12月10日（土）～12日（月）

場 所：岩手県山田町

内 容：やまだ元気隊有志による表敬訪問、香取市特産品の配布



Glocal Profiling Report : Katori City

Hiroshi Sato, Professor
Department of Modern Liberal Arts,
Chuo Gakuin University

Kenichi Hayashi, Professor
Department of Modern Liberal Arts,
Chuo Gakuin University

Abstract

In this paper, the Glocal (Coined from G lobal and Local) profile of Katori City is clarified, focusing on the following 6 items

- 1) Basic information
- 2) Overview of the Regional economy
- 3) Characteristics of Regional industries
- 4) Culture / Tourism / Exchange
- 5) Outline of Multicultural Coexistence Policy
- 6) Outline of Public transportation